

平成25事業年度

決 算 報 告 書

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

国立大学法人鹿屋体育大学

(様式2-1)

## 平成25年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学  
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,430	1,454	23	(注1)
施設整備費補助金	600	284	△316	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	807	807	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	21	21	—	
自己収入	560	572	12	
授業料、入学料及び検定料収入	511	518	7	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	49	54	5	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	28	45	17	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	37	55	18	(注7)
計	2,675	3,237	562	
支出				
業務費	2,027	1,917	△110	
教育研究経費	2,027	1,917	△110	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	621	305	△316	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	614	614	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	28	50	22	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	2,675	2,886	211	
収入-支出	—	351	351	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度の補正予算が今年度に繰越になったため、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、実験研究棟の事業が翌年度に繰越になったため、予算額に比して決算額が316百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が807百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料収入の増加により、予算額に比して決算額が7百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、学校財産貸付料収入等が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が17百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更により、予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、退職手当支給者数の減等により、予算額に比して決算額が110百万円少額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が316百万円少額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が614百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。